

← 仙台港

仙台湾

貞山堀

高瀬堀

七北田川→

遺跡遠景（西から）

# せんだいはん 仙台藩を支援した物流拠点

## がもう おくらあと ⑨ 蒲生御蔵跡（仙台市宮城野区蒲生）



遠

田

郡

仙台市北東部の七北田川左岸河口に位置する、貞山堀<sup>ていざんぼり\*</sup>から高瀬堀<sup>たかせぼり\*</sup>と七北田川を經由して仙台城へ米や塩などの物資を運ぶ拠点となった、江戸時代の遺跡です。

物流倉庫建設に伴う発掘調査が仙台市教育委員会によって実施されました。

調査の結果、江戸時代の堀跡や掘立柱建物跡などを確認したほか、短冊状<sup>たんざく</sup>の木の板に文字が書かれた木簡<sup>もっかん</sup>が多量に出土しました。掘立柱建物跡は蔵の可能性が高く、堀のそばに蔵が立ち並んでいた様子がわかってきました。



【動画の視聴方法】

QRコードを読み取るか、れんげもんちゃんをクリックすると視聴できます。

旧石器

縄文

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

安土桃山

江戸

明治

村

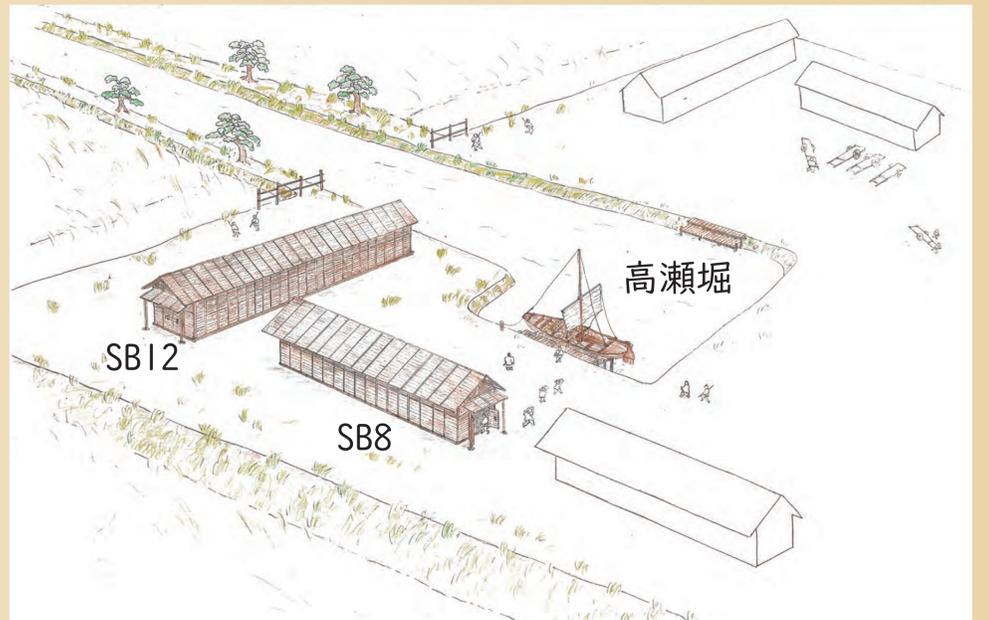


調査区全景（上が北）

ほりあと 掘跡 2 条、掘立柱建物跡 7 棟（SB 4・8～13）、井戸跡 1 基などを確認しました。掘立柱建物跡は高瀬堀の近くに建てられ、規模はもっとも大きい SB12 で南北約 29m あります。これらは高瀬堀や貞山堀を使って運ばれた物資を置いた蔵として利用された可能性があります。



2015 年の調査で出土した木簡



建物復元イメージ図



何が書かれて  
いるか分かるかな？

今回出土した木簡は現在調査中ですが、2015 年の調査で出土した木簡には、仙台藩に属する「遠田郡」「志田郡」の名前、「惣五郎」といった人名などが書かれていました。木簡からは具体的な物資のやり取りがわかるため、調査の進展が期待されます。

協力：仙台市教育委員会